

令和4年 9月定例会・全員協議会



小学校プールの上方に完成予定

梨子沢沿いの町道からの入口付近



**議会の眼：
小学校駐車場竣工間近**

整備が進められていた南木曾小学校駐車場が完成間近となりました。10月31日に竣工し、11月1日から利用が開始される予定です。

9月定例会

17 P

○9月定例会は、9月8日から9月16日の9日間の会期で開かれました。

★9月定例会可決議案一覧 …… 17 P

☆請願・陳情 …… 17 P

☆令和3年度決算認定 …… 18 P

☆議員発議 …… 20 P

☆木曾広域連合議会報告 …… 21 P

★一般質問…8人の議員が質問 …… 22 P

☆令和4年9月補正予算 …… 26 P

☆全員協議会 …… 29 P

●デマンドタクシーの運行

●南木曾町林業資料の文化財登録

●南木曾町成人式の開催に関するアンケート結果

●南木曾町奨学金支援事業（案）

●宅地分譲に関するアンケート調査結果

●おやこふれあい公園の整備計画

●南木曾町職員の定年年齢引き上げ

●桃介橋架橋100周年記念事業

●南木曾町燃料高騰対策燃料割引券支給事業

シリーズ「聞いて私の思い」…… 32 P

妻籠地域振興協議会副会長 加藤 英幸さん

令和4年 9月定例会 可決議案一覧

予算関連議案		賛否
●令和3年度 決算	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度一般会計・特別会計歳入歳出決算書 令和3年度公営企業会計決算報告書 令和3年度主要事業成果報告書 	審議内容 掲載P18 全員賛成
●令和4年度 補正予算	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計の補正は2億681万1千円増額し、総額42億8,798万3千円となります。 	審議内容 掲載P26 全員賛成
委員会発議		賛否
●南木曾町議会会議規則の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> 議員が議案を提出する場合、提出者を含めた2名以上の賛成者を必要とするよう改正するものです。 	全員賛成
議員発議		賛否
●安倍元首相の「国葬」中止を求める意見書について	<ul style="list-style-type: none"> 9月27日に岸田内閣が行う安倍元首相の「国葬」についてはその是非について国民の意見が分かれており、民主的な手続きという点でも多くの問題を抱えていることなどから、「国葬」を中止するよう求める。 	審議内容 掲載P20 賛成少数

請願・陳情

●地方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の公共交通事業者への支援の要望書

提出者 おんたけ交通株式会社
 代表取締役社長 古幡 勝彦
 (株)南木曾観光タクシー
 代表取締役社長 原 哲章

結果 採択（執行部送付）

趣旨 コロナ禍による原油価格や物価高騰への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による公共交通事業者への支援拡充を求める。

●「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書

提出者 フリースクールのための一斉請願プロジェクト
 代表者 四宮 沙代香

結果 採択（意見書送付）

趣旨 不登校児童に対して、フリースクールなどの民間施設利用に対する経済的支援や、施設の設立・運営に対する補助金制度の確立を求める。

●令和5年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

提出者 公益社団法人
 日本理科教育振興協会
 会長 大久保 昇

結果 採択（執行部送付）

趣旨 理科教育設備予算の計上や、観察・実験に伴う消耗品に対する十分な予算措置などを求める。

●つつじ公園・忠霊塔付近の雑木等の手入れについて

提出者 天白区長
 中島 照夫

結果 採択（執行部送付）

趣旨 つつじ公園や忠霊塔付近の雑木などについて、専門業者へ手入れを依頼して欲しい。

報告 9月9日、経済観光常任委員会で現地を確認しました。



決算認定審議

令和3年度決算を認定

※決算概要と監査委員による審査内容は広報2～5P参照

総務課関係

● 町税の収入減

Q コロナ禍もあり、町税の収入が上がっていない中で公債費比率を抑えながら運用していると思われるが、現状をどう捉えているか。

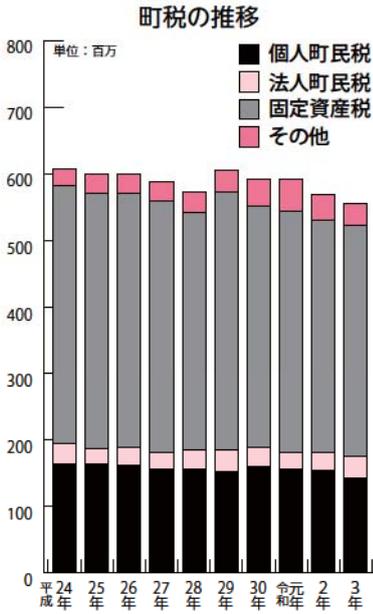
A 個人町民税が大きく減少する中、少しずつ経済活動も上向いており、法人町民税は増加しています。また、町の財政規模も国からの交付金などにより増

加しています。交付金などの活用により住民や事業者への支援は出来ていると考えています。

Q コロナ禍の影響以外にも可処分所得の伸び悩みなど、税収圧迫の原因があるのでは。

A 可処分所得の伸び悩みなどは様々な要因があり、原因について一概にはお答え出来ないと考えています。

● 公債費比率の今後
Q 公債費比率が0・



2ポイントの増となり、近年借入額も増加している。今後の公債費比率の見込みは。

A 公債費比率は借入金状況に影響されませんが、木曽広域連合による大型事業が一区切りとなり、負担金も減少していきます。出来る限り借入金の早期返還を進めるなど、現状を維持出来るよう努めます。

● 公共施設の管理計画
Q 町には今後、南木曾会館や役場庁舎の建て替え、道路改良など、大型の事業も控えている。長期的な展望を持ち、計画的な財政運営が必要となるが、どのように考えているか。

A 今後の施設更新を踏まえて公共施設総合管理計画を作成し、具体的な計画を立てているところです。今後多額の借入金により過大な公債費の負担とならないよう、計画的な資金運用に努めたいと思います。

管理計画は、現在施設ごとに個別計画を策定しているところですが、まとまった段階でお示しします。

意見 しっかりとした将来像を持った上で計画を作成し、町民に示して協議しながら進めるべきだ。

● 税収増に向けての取り組み
Q 依然として地方交付税に依存しなければならぬ状況であり、財政力指数もほぼ横ばいである。自主財源を増やす努力についてどう考えているか。

A コロナ禍の状況ですが、産業の活性化など、町税収入の増加に向けて引き続き努力したいと考えています。

● 自立計画と職員定数
Q 人口減少の中で、昨年度の職員は常勤93名・会計年度任用職員25名の計118名と、自立当時より増えている。自立の精神についてどのように考えているか。

A 自立推進計画に沿って管理していますが、業務も複雑かつ高度化しており、リニア新幹線の対策や専門職の必要性などもあり増えているものです。

るか。

A 防災備蓄品の更新ごとに更新しているが、期間の経過した食料品はどうしているのか。防災意識を高める意味でも、住民に配布してはどうか。

● 防災備蓄品の更新
Q 防災備蓄品は5年ごとに更新しているが、期間の経過した食料品はどうしているのか。

A 防災訓練などで使用しています。配布については今後検討したいと思います。

税務会計課関係

● 滞納の処理

Q 町税徴収において、固定資産税の現年度滞納額で約48万円あまりを不納欠損処理としていますが、その理由は。

A 固定資産の所有者が死亡するなど、相続人不存在などのケースがあったためです。処

理件数は3件です。

意見 町税や国民健康保険税、軽自動車税、水道使用料、下水道使用料、保育料、住宅使用料など滞納額が過年度・現年度合わせて3600万円になる。住民負担の平等と公平性の観点から、滞納整理に努力して欲しい。

もっと元気に戦略室関係

● ふるさと納税

Q 町が直接関わる税収行為として「ふるさと納税」がある。昨年度は減収となっているが、南木曾町を選んでもらう努力が必要。町出身者にアピールするなどの対応を考えているか。

A 昨年までは募集サイト「さとふる」での受注のみでしたが、今年から「楽天」を加えました。今までは違ったメリットがあるため、増額につながることが期待しています。

●リニア関係

Q リニア対策協議会の中で、リニアが町にもたらす一番のメリットを問われたJR東海は「税金が増えること」と回答した。町はリニア開業による税金増を把握しているか。

A JR東海の発言は「償却資産」のことだと認識しています。これは、JR路線やダムなどの償却資産に対することだと思いますが、その金額については把握していません。

Q リニア発生土置き場候補地として長者畑が記載されているが、現在も候補地として認識しているのか。

A 協議自体は白紙となっていますが、候補地に上がった場所として記載しています。

Q 令和2年に「南木曾町リニア活用基本構想」を策定しているが、関係部署での活用計画が示されていない。部

署間で横断的に進める考えはあるか。

A リニア活用・推進については、商工会にお願いしています。

住民課関係

●国保における受診控えと健康への影響は

Q 昨年度の一人あたりの国保給付金は県下で49位と低くなっている。コロナ禍の受診控えによるものか。また、健康への影響は。

A 緊急事態宣言がなされた一昨年の5月・6月時点では医療費がかなり落ちたため、一定の受診控えはあったと感じています。受診控えによる健康への影響については、はっきり関連付けるものは今のところありません。

●補聴器購入補助の利用状況と条件緩和

Q 補聴器購入補助の申請が少ない。申請条件の緩和が必要では。

A 昨年度4件の補助を行っており、制度の

周知も図ってきました。申請数は現行制度の中では妥当であると考え、今のところ条件緩和について具体的な検討は行っていません。

産業観光課関係

●森林環境譲与税による取り組みの方向性は

Q 与川・川合地区の森林整備や妻籠・城山の意向調査など、森林環境譲与税による取り組みについて報告されているが、町の取り組み方向が見えてこない。

A 実績を積み重ねて整理し、他の所有者にも説明出来るような資料や、全体の方向が出ればと考えています。対象地区数の増加に伴い町管理の箇所も増えていくため、どのように森林整備していくのかも含めて計画を作成したいと考えます。

意見 町の管理地が増えることによる問題は当然出てくる。地権者に対し、町が何を行っているか分かるように

して欲しい。

●JR田立駅の管理

Q 田立駅の管理委託料が計上されていない。

A 現在は町・JA・JRが共同で管理しています。

●緑の募金のあり方

Q 緑の募金を区費から支出している地区があるが、本来の募金活動としては課題もある。県からの要請があるのか。また、使い道は。

A 緑の募金は、緑の少年団や県の植樹祭など、人材育成や緑化の推進、森林整備などの活動に使われています。県の要請はありません。

●伝統工芸品補助事業

Q 令和3年度におけるひのき笠組合への補助実績は。

A 申請が無かったため、実績はありません。

●観光客数とカウンターの活用状況

Q 歩行者カウンターの数値はどのように活

用されているのか。

A 歩行者や宿泊者数などを集計し、統計に反映させています。

建設環境課関係

●ごみの減量

Q 燃えるごみの中に生ごみが30%含まれており、この生ごみを減らすことによって処理費用を削減出来る。生ごみのコンポストや生ごみ処理機に補助金を出せないか。

A 要綱などの検討を進めています。

Q 町では年間563トン出る燃えるごみのうち、14〜15%（約92トン）減らすことを目標にしている。具体的な方法は。

A 住民に対するリサイクル資源の分別徹底の周知や、重量が増す水分を含むゴミの乾燥、生ごみの分別処理の徹底など、町で出来る取り組みを行います。

意見 全体の数値目標を示しても住民は受け

止めづらい。家庭ごとや、ごみ袋一袋ごとの目標や目安を示した方が分かりやすいのでは。

●国道のポイ捨て対策

Q 町の国道は監視パトロールの効果もあり大変きれいだと思うが、なかなか減らないごみの対策として何か有効な方法はあるか。

A 現在4名の方々に監視とごみの回収をお願いしている状況です。今後も継続していきたいと思っています。

意見 ごみを待避所などに捨てないような方法を、国土交通省とも連携して考えては。

●水道事業会計

Q 三留野・妻籠簡易水道の有収率は、令和2年度の91.6%から65%に激減している。原因は。

A 機器の故障などによる数値が混在したため、実質的には昨年並みの数値です。

Q 今後、有収率を上

(決算認定)

げるための対策は。

A 漏水など施設の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕などを検討します。

Q 簡易水道会計は赤字経営となっているが、今後の料金改定は考えているか。

A 水道料金は3年ごとに改定していますが、昨年度は事業会計への移行があり、検討出来ませんでした。今年度の審議会で再度検討したいと考えています。

Q 妻籠の下水道会計も厳しい状況である。今後の対策は。

A 下水道4会計は、一般会計からの繰入金を活用しながら運営していきます。

● 霊園の分譲と返上

Q 神戸と蘭霊園の管理は町が行っているが、墓じまいを希望する人が増えている。

A 管理組合へ相談いただければと思います。

教育委員会関係

● タブレットの利用・環境整備は

Q 学校ではコロナ禍でタブレット端末が配布されているが、各家庭で問題なく使えているか。

A 基本的には自宅でも使えるネット環境になっており、特段使えないという意見はいたっていないです。低学年では使い方の問題がまだあります。

● 読書保育園改修

Q 通園バスの待合所は乗降の際の雨よけになっていないのでは。

A バス会社や保育士と相談の上で設置を行ったものです。乗降時には多少濡れる場合もありますが、待ち合いや園舎までは雨に濡れることはありません。

● 緑誠蘭高校への支援

Q 協力支援とはどのようなものか。

A 階段の修理など、

建物の改修です。

● 博物館の利活用を

Q 博物館の利活用について、住民の催し物や博物館の取り組みなどが少ないのでは。

A 他の博物館における催し物を見ると、町の博物館には適当な場所が無いように感じますが、町の施設でもそうした場の提供や博物館での催し物も考えていく必要があると思います。

その他

● 旧統一教会関係の寄付などの有無は

Q 旧統一教会が各自治体に寄付を行っている例があり、調査の中で返納しているということだが、町の対応は。

A 町が過去に受けた寄付金やふるさと納税などについて調査しましたが、該当するものはありませんでした。

議員発議 安倍元首相の「国葬」中止を求める意見書について

提出者：坂本 満 議員
賛成者：高橋 進 議員

趣旨説明

9月27日に岸田内閣が行う安倍元首相の「国葬」について、世論調査では中止を求める声が過半数を超えている。「国葬令」の廃止により法的根拠はなく、憲法では「法の下での平等」や「思想及び良心の自由」が謳われている。特定の個人に対して国民全体で弔意を示すことはなじまず、多額の国費を使つての「国葬」は、国民に弔意を強いることになりかねない。さらには、統一教会と安倍元首相の関係についても懸念される。これらの理由から、「国葬」を中止するよう国に求める。

意見書に賛成の討論

● 報道されているように、反対の意見が半分くらいはあると思われる。長く政権に就き功績も多くあったが、加計学園や桜を見る会などの問題は不明なままだ。国葬を認めれば、すべて認められてしまうのでは。また、吉田首相の国葬の反省として国で方針を決めるべきだということが残っていたが、今まで審議がされてこなかった。

意見書に反対の討論

- 一国の首相を長く務めたことは事実。決め方に関する法的整備を求める意見書であれば理解出来るが、国葬反対の意見書を議会から出すことはなじまない。
- 国葬令が廃止されてから、新たな法の整備の結論に至らなかったことも事実であるが、あえて国葬反対の意見書を出すのはいかなるものか。
- 世論の賛否が分かれており、法的根拠や国費の投入など納得しがたい部分もあるが、一国の首相として憲政史上最長の重責を担ってきたことには純粋な気持ちで弔意を表しても良い。
- テロ的行為で凶弾に倒れたという経緯を鑑みて、国葬自体は認めるべきという思い。閣議決定に対する疑問はあるが、意見書を送付することについては慎重にすべき。
- 賛否はあるが、木曾郡でも南木曾町でも大変お世話になった。議会として意見書を出すことには反対したい。

審議結果

賛成3名 起立(賛成) 少数で意見書採択を否決

9月定例会

8人の議員が一般質問



◆伊藤 寿子 議員

- ・リニア中央新幹線、発生土置き場と町対策協議会の今後について

◆近藤 隆 議員

- ・猫の不妊・去勢手術への補助金制度を

◆高橋 進 議員

- ・さらなる子育て支援の充実を

◆田中 晃 議員

- ・子育て世代の雇用創出対策は
- ・日本遺産の活用促進について

◆矢澤 和重 議員

- ・町道沿いの草木 適切な管理を

◆早川 親利 議員

- ・町内にある一級河川及び準用河川の整備計画は

◆坂本 満 議員

- ・坂下診療所の状況
- ・8月からの地域交通変更と住民の反応
- ・町道の改良要望
- ・町道基準の見直しを

◆松原 崇文 議員

- ・コロナワクチンが他の接種に与える影響は

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

リニア中央新幹線、発生土置き場と町対策協議会の今後について

●尾越発生土置き場候補地に係る妻籠地区住民説明会

Q 今回の説明会では前回住民から出された意見・要望を基に、当初は20万㎡だった発生土を14万㎡に減らし、側面の傾斜を緩くし、高さ5mごとに小段を設けるといった内容の計画案が示された。住民からは、

- * 近年の豪雨による盛土崩壊の危険性について
- * 熱海土石流災害を受けた県の盛土条例が反映されるか
- * 他の候補地への分散

* 傾斜に対する専門的な質問 など、様々な声が上がっていた。

県の盛土条例だが、6月県議会に提出された後の経過、施行の時期は。

A 県議会で審議の上、7月11日に公布され、令和5年1月1日施行となります。

Q この盛土条例に沿っ

た形で、また変わる可能性もあるという事だと思いが、やはり住民の不安は尽きない。現在、町が把握している候補地については何のくらいあるか。

A 令和4年4月現在で、40件です。

Q これだけの候補地を、町は今も県へ情報提供するだけなのか。もう少しJRに対して助言するなど、一歩踏み込んだ形で町の存在感を示して欲しいが。

A たびたび助言はしていますが、JRの考え方もありますので、説明会などで住民の皆さんから質問や意見を出して頂くのが一番効果的だと思います。

●リニア対策協議会
傍聴者として7年目になるが、毎回同じ委員ばかりが発言しているように思う。司会進行者には他委員の意見も聞いてはどうかと思うが。

意見 以前には広瀬の長者畑牧草地を候補地としていたが、住民の反対により白紙撤回となった経緯がある。尾越に関して同じ事は考えられる。

リニア新幹線については、説明会の中で若者から「リニア新幹線には期待している。反対するだけではなく、盛土が心配

らうように要望してはどうか」との意見が出された。また、別の会議の後には、他の若者から「リニアは国策だ。だったらこの町はどういう方向に進むのか、どんな要望を出すのか明確にして、もっと前向きに考えるべきだ」との意見もあった。



伊藤 寿子 議員

猫の不妊・去勢手術への補助金制度を

「地域猫」とは、地域の方々の理解と協力のもとで不妊・去勢手術をした野良猫です。

「地域猫活動」とは、野良猫の一代限りの命を地域で適正に見守り全うさせるための取り組みで、地域における猫のトラブルを減らすことです。

れる方への捕獲檻の貸し出し、捕獲された野良猫は保健所へ引き渡しを行っています。

Q 木曾郡内と南木曾町における、野良猫の引き渡し状況は。

A 令和3年度の引き渡しは、木曾郡内で31匹、うち南木曾町は12匹（約40%）でした。

●野良猫から地域猫へ
Q 最近、他町村では空き家に野良猫が住み着いて猫屋敷状態になった事例も報道されている。また、発情期の鳴き声、糞尿などの被害や苦情も多くなった。南木曾町では猫による苦情などはあるか。

A 餌を与えることにより、猫が集まり子猫が増えていて、という苦情が寄せられています。

Q 他町村で引き渡しが少ないのは、地域猫活動により地域猫が増えていたためであり、それによつて猫のトラブルも減っている。郡内6町村のうち、野良猫の不妊・去勢手術に補助金制度を設置している町村は。

A 木祖村・王滝村・上松町・大桑村の4町村です。

Q 対策はどうしているか。

A 広報によるペットの適正な飼い方の周知や、個人による捕獲を希望さ

●補助金制度の新設を

Q 木曾町は、現在補助金制度を検討中と聞いている。県内各地でこの地



近藤 隆 議員

域猫活動の考えが浸透して、それに伴い自治体の支援も増えてきている。南木曾町でも地域猫活動に向け補助金制度は出来ないか。

A 木曾保健所と協力して野良猫を増やさない対策を図りながら、郡下の補助金制度の内容や近隣町村の保護団体の活動状況を確認した上で、必要性について検討していきます。

意見

野良猫だけでなく、飼い猫も含めて総合的に考えていく必要がある。猫を減らすことだけを目的とすれば保健所へ引き渡せば一時的には減るが、根本的な解決にはならない。不妊去勢手術により猫の繁殖を制限して適正な飼育と良好な住民の生活環境を守っていくためにも制度の新設を検討されたい。

さらなる子育て支援の充実を

Q 木曾郡内をはじめ、多くの町村では小中学校の児童生徒数が減少している。

そんな中で、南箕輪村は子育て支援が評価され、この10年間に約千人もの児童生徒が増えていると報道があった。町では子育て支援に力を入れているが、充実していると思

持参してもらい、使い終わったら各家庭に持ち帰っています。なお、布おむつについては、保護者の希望に応じて対応しています。

Q 衛生面の問題もある。園でおむつを処理しても

援給付金支援事業として未満児に対し一律4千円、未満児保育を利用していない家庭には7千円を上乗せして給付を行っています。紙おむつにもいろいろ種類があり、家庭によって希望する商品も異なるため、こうした給付金を活用していただければと考えています。



高橋 進 議員

A 多方面にわたって支援を行っており、以前子育て世帯を対象に行ったアンケート調査からも、一定の評価はいただいていると考えています。今後も支援を継続していきたいと思

方にはご協力をいただいているところです。現在未満児が20人程度おり、紙おむつもかなりの量となるため、保管方法なども含めて対応出来るか検討したいと思

子どもは宝物である。住むなら南木曾町、子育てするなら南木曾町と大きな声で言えるよう、さらなる子育て支援をお願いしたい。

Q こども園未満児については以前から布おむつを持参し、持ち帰り、自宅で洗濯をされており、お母さんたちの大きな負担となっていた。現在もそのようにしているのか。

Q 子育て支援として、園内で使う紙おむつを公費支給出来ないか。

A 未満児保育を利用していない家庭もあるため、公平性の観点から難しいと考えます。

A 1〜2歳児においては、紙おむつを5〜6枚

現在、町では子育て応

子育て世代の雇用創出対策は

●町主導による民間事業者との連携事業計画は

Q 木曾地域の他町村では、行政と民間が連携した事業が立ち上がっている。南木曾町において、行政主導で民間事業者と協業による雇用創出の事業計画はあるか。

A 町では農泊推進協議会を立ち上げ、民間事業者とハード及びソフトウェアに取り組んでいます。今後は、サテライトとしてテレワークが出来る施設づくりを推進し、企業や個人事業主などと連携

近隣市町村における行政主導による雇用創出の事業活動

塩尻市	市と竹中工務店の奈良井宿での連携事業	観光業
木曾町	町と東京おもちゃ美術館の体験施設連携事業	観光業
	町とおもちゃ美術館の木工製作所運営事業	木工業
上松町	町主導の寝覚めの床周辺施設開発事業	観光業
	地域おこし協力隊OBによる木工事業	木工業
大桑村	地域おこし協力隊による古民家活用事業	観光業

して活用出来る場所づくりを検討しています。
●子育て世代の起業に対する支援は

Q 子育て世代の雇用促進の一環として「地域おこし協力隊制度」の活用があり、一定の成果も上げている。しかし、町に残り起業まで結び付けているOBは少ない。今後の方針は。また、協力隊以外のU-Jターン者に対する起業支援はあるか。

A 協力隊の採用では、町での活動に明確な目標を持つ人材を採用していますが、活動の結果、町に残ることが難しい場合もあります。出来るだけ町に居住してもらえよう引き続き取り組みます。
意見 日本全国で子育て世代の移住を推進している。町でも移住者が起業を計画している事例があるが、このような人達に対して特色のある魅力的な応援施策を打ち出さないと、行政のみならず、町全体で子育て世代の移住者を歓迎する体制づくりが必要。町主導で積極

的な応援を願いたい。



田中 晃 議員

日本遺産の活用促進について

Q 「木曾路」が引き続き日本遺産として認定された。しかし、地域参加による活用と活性化に課題があるとの指摘があった。町における今後の文化遺産活用についての考え方は。

A 日本遺産の対応については、事務局である木曾広域連合を中心に活動している。町としては、今後も広域連合と協調しながら、地域の活性化に繋がるよう努力していきたいと考えています。

意見 国も「観光立国」実現に本気で取り組んでいる。観光庁も観光地に対し、様々な補助金を提供している。日本遺産を活用し、地域の活性化に繋げて欲しい。

町道沿いの草木

適切な管理を

Q 町道沿いの草木は、地域住民が道路愛護活動として草刈りを行っているが、近年高齢化や人口減少により草刈りが出来ない地域が出てきている。住民から要望などは聞いているか。

A 区長からの要望などがあります。人的な問題で道路愛護活動に支障が起きていることは把握しています。町としての支援策について検討していきたいと考えています。

要望 地域振興協議会にも相談してもらいたい。

Q 広瀬地区で、急傾斜地に草木が茂っている箇所がある。高所のため、住民で伐採するには危険を伴うが、どうすればいいのか。

A 数年に一度、県で草刈りしてもらうことになっていきます。

Q 町道沿いの木について、電線や電話線があり、住民で伐採するのが難しい場合がある。

A 蘭の折地区では、8月に松枯れた木が倒木したことに伴って停電が発生した。また、国道256号のトンネル付近の杉の木が電線にかかり、電力会社が対応したケースもあった。

町では、全体区長会で危険木があれば町に情報を寄せて欲しいと依頼しているが、そのような情報は集まっているのか。



矢澤 和重 議員

A 住民からの報告や、地域振興協議会からの要望などで把握をしています。

Q 危険木への対応は。小径木など、町で対応出来るものについては町で対応し、町で対応出来ないものについては業者を手配しています。倒木により電線などに影響が生じた場合は、基本的には被害を受けた事業者が対応しています。危険木を把握した際は、町から事業者へ撤去を依頼する場合もあります。

要望 町道は町の管理となっている。相談窓口や情報提供、地権者への呼びかけなどにより、住民の生活に支障が出ないよう管理してもらいたい。

町内にある一級河川及び準用河川の整備計画は

ています。

町内の木曾川について、具体的な整備計画はあるか。

町内には、長野県管理の一級河川と町管理の準用河川があるが、最近

は河川内に草木が繁茂し、見通しが悪く水の流れが悪くなっている所が多く見られる。

町内には、一級河川が何か所あるか。

木曾郡内には71河川あり、町内には木曾川も含め20河川あります。

木曾川やその他の一級河川の整備計画はどのようなになっているか。

木曾川の整備計画については、長野県が木曾川水系木曾圏域河川整備計画として河川流域の人口・資産の集積状況・災害の発生状況及び現況の流加能力などを総合的に勘案して策定を進めているところだ。

当面の整備は、昭和58年9月に発生した洪水の同等程度の洪水が発生しても、家屋の浸水被害を防止することを目標とし

護岸の補強工事が沼田地区で計画されており、測量などの調査が実施されています。

国道側の河川内立木の伐採や桃介橋右岸側橋台の補強、護岸の設置は計画されているか。

今後とも木曾建設事務所へ要望を出していきます。

木曾川以外の19か所における河川整備計画は、

木曾川水系木曾圏域河川整備計画の中で順次計画していきます。

一昨年、県からの依頼で1年間河川パトロールを行った。木曾川・長谷川・蘭川・与川・下山、上山川・柿其川などを調査して報告している。木曾川以外の一級河川の整備計画の策定を強く要望してもらいたい。

町で管理している準用河川は何か所あるか。

木曾郡内では282河川あり、町内には70河



早川 親利 議員

川あります。

町内にある準用河川も一級河川同様、草木が繁茂している。このような状況を把握しているか。

全体的には把握は出来ていませんが、地域からの要望がある所は出ています。

現在は把握出来ていないとのことだが、今後調査などを実施して整備計画を策定する考えはあるか。

調査は順次進めたいと思います。

近年の異常気象で、線状降水帯などが発生しゲリラ豪雨が起きやすくなり、洪水によって大きな災害になる。河川内が整備されていけば、スムーズに流れ被害も最小限で済む。一級河川・準用河川の調査などを早急に行い、河川整備を進めたい。

坂下診療所の状況

坂下病院が診療所になり3年経過した。

3月の中津川市議会にて、坂下診療所の透析について、南木曾町の患者数が40%との報告がある。町の姿勢を明らかにしていく必要がある。

昨年、中津川市の病院事業部が来町した際、財政的な協力の話もありました。坂下病院建設の時も対応をしています、町もそれなりの準備をしておかなくてはと考えています。今後も市との連絡体制を保ちつつ、必要な対応やお願いをしていきたいと思っています。

機関と協議して、10月を目途に状況を報告することになっていきます。

右岸道路を通る路線については、除雪含めて管理がより求められる。

草刈りなど支障が出るところなど町で対応していきたいと思っています。除雪については業者と協議をしていますが、対応出来る機械がほとんど無いため、県など関係機関にも相談して対策を取りたいと考えています。

町道の改良要望

町道の改良は箇所数が多く大規模な改良などはなかなか進んでいない。例えば北部地域から若い人たちの移住・定住、安定的な雇用の問題としてフラビ沢橋改良の要望が出ている。

要望は承知しています。トラックの大型化による通行の支障です。改良の方策が無いのか検討しながら進めていきたいと考えています。

町全体では、防災・減



坂本 満 議員

町の道路改良事業が行われていますが、住民生活や産業振興に関連する道路改良などについても検討が必要になるかと思っています。

町道基準の見直しを

人口減少で住宅が減った場合、町道認定を

外すことはないと思う。むしろ生活道路は町道でも農道でも整備していく方向だ。必要な農道整備なども出来るよう町道認定基準の見直しを。

町道基準の見直しは必要があるかとは思いますが、町道で管理していく部分、農道、林道で管理する部分の棲み分けをし

8月からの地域交通変更と住民の反応

8月の学校の夏休み明けから路線バスのルート変更などが実施されているが、住民の反応は。

北部地域保護者より時間とルートについて申し出がありました。関係

コロナワクチンが他の接種に与える影響は

Q コロナワクチン接種が、他のワクチン接種に影響を与えていないか。

A 接種間隔を開けて接種を行っているため、影響は無いと考えています。じます。

Q 接種する年齢や期間が決まっているワクチンもあると思うが、その対応は出来ているか。

A 現在長野県で助成している市町村はほとんど

ていない市町村はほとんどないと思われます。県では、带状疱疹ワクチンを早期に定期接種出来るように国に要望しているところです。その状況を見て助成を考えたいと思います。



松原 崇文 議員

町で実施している予防接種	
■小児予防接種	
定期予防接種	(概略)
ヒブ・肺炎球菌・B型肝炎・ロタウイルス感染症	出生後2か月～
四種混合(※)	出生後3か月～
BCG	出生後5か月～8か月未満
MR(麻しん風しん)	1歳～2歳未満、こども園年長
水痘	1歳～
日本脳炎	こども園年少児・年中児相当、小学校4年生相当
二種混合	小学校6年生
子宮頸がん	中学校1年生女子
※百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ混合ワクチンを指す	
任意接種の一部助成	
風しん(成人)、おたふくかぜ、インフルエンザ(学生)	
■高齢者予防接種	
定期予防接種	季節性インフルエンザ、高齢者肺炎球菌
■その他	
インフルエンザ予防接種費用助成拡大事業	

補正予算審議概要

令和4年9月補正予算(一般会計、特別会計、事業会計)が審議され、全会一致で可決されました。
補正予算概要を表に示し、審議の主な質疑を掲載します。

●役場庁舎改修関連

Q 役場庁舎関連修繕費170万円の内容は、

A 町所有の土地が返還されるにあたり、老朽化した小屋の除却費

70万円と、庁舎修繕安全対策費100万円を計上したものです。

Q 庁舎改修工事の中で、玄関前の花壇の撤去や玄関の車寄せに雨よけの屋根を増設することは出来ないか。

A 今回の工事で行う予定はありません。

●インボイスへの対応

Q インボイス(消費税の適格請求書)制度が来年10月から始まる公共事業に関わっている免税業者への対応や、町自体もインボイスを発行出来るようにする

●国保の均等割減免の拡充を

Q 国民健康保険では未就学児の均等割を国

●耕作条件改善事業

●赤い羽根募金のあり方

●赤い羽根募金に町は関与しているか。

必要がある。準備の状況は。

A 国や県から制度に関する調査が来ており、改めて指示があると考えています。

一般会計・企業会計ともに対応を始めており、年内には方向性を決めたいと考えています。現在簡易課税は下水道会計のみとなっております。他の3会計はすでに課税業者となっております。

●国保の均等割減免の拡充を

Q 国民健康保険では未就学児の均等割を国

●耕作条件改善事業

●赤い羽根募金のあり方

●赤い羽根募金に町は関与しているか。

A 赤い羽根共同募金は社会福祉協議会が募集しています。町は日赤に関係する募金の集金を行っています。

意見 すべての家が募金出来る状況ではない地元からも負担が大きといった声がある。

●耕作条件改善事業

●赤い羽根募金のあり方

●赤い羽根募金に町は関与しているか。

に対し、現在希望している農業者の数は。

A 現在までに問い合わせも含め、10件ほど集まっています。8月に中山間組織への説明と農家あての通知を出し、10月までに取りまとめを行う計画です。

現在、個別に現地を確認しながら対応しています。出来る限り農業者の負担とならないよう、今後に対応していきます。

要望 このまま高齢化が進めば、耕作放棄地は拡大する。町はこの事業で成果を上げなければ今後の農業の衰退に直結すると考え、本腰を入れて取り組んで欲しい。

●町道十二兼線等改良

Q 町道十二兼線の踏切改良は終わっているようだが、町道改良は続く。朝晩だけでも踏切を通行出来ないか交渉する話だったが。

A J R 東海と協議し

ましたが、工期や工程の関係で対応出来ないとの回答です。

Q 工事が進んでないように見えるが。

A 盛土は付近の土を使いますが、セメントを混ぜて補強が必要だということ。土の試験を含めて盛土しており、工期内には終わるように進めています。

Q 代行タクシーによる補助金51万円増額というの。

A 踏切を通行出来ない児童について、タクシーによりスクールバスの集会所バス停まで安全に送迎するもので、経費はJ R が全額負担します。

Q 踏切が通れず国道を歩くが、歩道の草が大変だ。観光客も歩くため整備して欲しい。

A 国土交通省に優先的な実施をお願いしていますが、今年草の伸びも早く対応が少し遅れているようです。要望は続けています。

●町道坂の下線改良

Q 町道坂の下線改良工事の内容は。

A J R のガード下から国道19号の入り口まで、L型ブロックを設置して道を拡幅する工事です。以前改良を行った、国道から入ってすぐの箇所は含めないう予定となっています。

Q 全面通行止めとのことだが、歩行者用の通路を設置することは出来ないか。

A 工事の施工上掘削幅が大きくなるため、全面通行止めをお願いしています。関係区の区長には説明して了解をいただいています。

●町道大原線拡幅工事

Q 大雨対策として横断溝を設置出来ないか。また、法面に植える植物も選別してもらえないか。

A 地域要望も出ているため、検討したいと思えます。

●漆畑道路拡幅工事

Q 国道256号の漆畑道路拡幅工事について、地域役員の改選時期と重なり、残土置き場など工事の状況が新役員に伝わっていない。区役員が変わる際は役場からも再度確認を行い、混乱の無いようお願いしたい。

A 説明が不十分であったようです。今後同様のことがないように注意します。

●町道蘭線交差点改良

Q 工事の状況は。

A 町道蘭線十字交差点の改良工事は、県の事業として今年度測量設計の予算が付きまじた。実際の工事は来年以降となり、町も1割程度を負担します。

●蘭川河川整備

Q 昨年8月の豪雨災害で蘭川の水位が急激に上昇し、寺下・尾又地区は緊急避難を余儀

●一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計 (第3号)	206,811	4,287,983
国民健康保険特別会計 (第2号)	20,339	321,674
後期高齢者医療特別会計 (第1号)	328	79,380

●一般会計補正の主なもの

(単位:千円)

会 計	補正額
公共施設総合管理基金積立金	90,000
除雪対策事業	27,934
おやこふれあい公園整備費	13,480
ワクチン接種対策事業	13,287
二三石油前町有地支障木伐採委託料	12,000

令和4年9月補正予算 (9/16決)

一般会計補正予算
2億681万1千円を増額
総額
42億8,798万3千円に

●事業会計補正予算

(単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
簡易水道事業会計 (第2号)		
収益的収入	0	135,175
収益的支出	4,150	144,319
資本的収入	4,650	580,189
資本的支出	500	635,361

(補正予算)

なくされた。河川整備は喫緊の課題であるため、関係機関への働きかけをお願いしたい。

A 今年も大雨による増水がありましたので、県へ伝えていきたいと思いをします。

Q ごみ袋のばら売りを木曾広域連合が販売しているごみ袋について、ばら売りを希望する意見がある。

A 広域連合では現在ばら売りの考えはなく、取扱店舗でも管理上の問題から、現在対応している店舗はないと思いをします。

特に燃えるごみの袋が希望の対象になると思いますが、長期保存が可能な物品であるため、現状の販売方法で対応していただきたいと思いをします。

要望 単身赴任者など、若者世代から要望が出ており、他の自治体では実施例もある。検討願いたい。

●妻籠宿保存事業

Q 今年から地元負担が2割となり、令和5年度から年3〜4件の改修工事を行う計画になっている。現在の工事状況は。

A 今年度は、繰越の分と合わせて2棟の物件を工事しています。来年度からは3棟以上の工事を予定していますが、補助金に応じて実施棟数を決定したいと考えます。

Q 施設修繕費75万円とは保存対象物件の経費か。

A 小規模修繕2件分を計上したものです。

●妻籠町並み交流センターグラウンドの整備

Q 妻籠町並み交流センターのグラウンドは山側からの湧水によって水たまりのようになっている。現在の事業で排水などの改修は行うのか。

A 駐車場の整備は準備していますが、グラウンドについては工事箇所とずれるところもあるため、状況を見ながら対応したいと思いをします。

Q 蘇南高校将来像検討のための視察とは

A 蘇南高校の再編整備計画2次の中で蘇南高校は募集定員80名(総合学科2学級)の中山間地存立特定校になっていますが、さらに小規模になった時の運営方法が大きな課題になっています。

Q 蘇南高校将来像検討のための視察とは

A 蘇南高校の再編整備計画2次の中で蘇南高校は募集定員80名(総合学科2学級)の中山間地存立特定校になっていますが、さらに小規模になった時の運営方法が大きな課題になっています。

Q 蘇南高校将来像検討のための視察とは

A 蘇南高校の再編整備計画2次の中で蘇南高校は募集定員80名(総合学科2学級)の中山間地存立特定校になっていますが、さらに小規模になった時の運営方法が大きな課題になっています。

現学校長から課題検討を望む意見があり、全国にある総合学科1学年1学級の高校から、長崎県平戸高校、松浦高校、北海道大空高校、斜里高校を視察します。学校長、教育長など3名が参加し、学校運営子どもたちの様子などを調査研究する予定です。

Q おやこふれあい公園

Q 現在、遊具を設置してある公園は何か所か。また、既存の公園の維持管理はどうなるか。

A 学校内も含めて14か所あります。既存の公園については、地元と協議の上で維持管理を継続していきます。

Q 旧テニスコートは管理棟やトイレの裏にあり、安全面で問題はないか。

A 今後関係者と協議をしていきたいと思いをします。

Q グラウンドを全体的に見た中で、どういう構想でこの位置に公園を造るのか、明確化されていない。倉庫も雑然とあり、グラウンド外野部分の状態も良くないと思うが。

A 子育て支援の一環として要望も多く、早急を実施する必要があらります。

外野部分の状況は承知していますが、今後ふれあい公園整備計画に併せて利用者と協議する中で、総合グラウンド全体の活用方法についても検討したいと思いをします。



渡島グラウンドの旧テニスコート

Q 国葬での半旗掲揚の理由

9月15日の信濃毎

意見 南木曾会館の建て替えなどの課題もある中で、周辺の整備についてはもっと総合的に考えるべきだ。公園を整備した後にまた撤去することにならないようにしてほしい。

Q グラウンドを全体的に見た中で、どういう構想でこの位置に公園を造るのか、明確化されていない。倉庫も雑然とあり、グラウンド外野部分の状態も良くないと思うが。

A 子育て支援の一環として要望も多く、早急に実施する必要があらります。

Q 国葬での半旗掲揚の理由

9月15日の信濃毎

意見 南木曾会館の建て替えなどの課題もある中で、周辺の整備についてはもっと総合的に考えるべきだ。公園を整備した後にまた撤去することにならないようにしてほしい。

Q 国葬での半旗掲揚の理由

9月15日の信濃毎

意見 南木曾会館の建て替えなどの課題もある中で、周辺の整備についてはもっと総合的に考えるべきだ。公園を整備した後にまた撤去することにならないようにしてほしい。

意見 自治体が「国葬」に一定の肯定的な立場を示すことが、民主主義社会における在り様として誤ったメッセージを出してしまうのではないか。町においても慎重に扱っていただきたい。

議会と町の意見交換

全員協議会

(9月8日、15日、16日)

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

- 全員協議会の質疑内
- … 意見・要望など



【説明概要】
与川線と北部線で運行していた乗合タクシーを、デマンドタクシーとして10月3日から運行することについて説明がありました。デマンド化により、行きたい時間に合わせて自宅で乗降出来るようになります。デマンドタクシーを利用出来るのは、与川地区、北部地区、金知屋地区、上の原地区にお住まいの方で、利用には事前の登録が必要になります。

デマンド
タクシーの運行

デマンドタクシーの運行への質疑

【試行地域の範囲】

- 乗り合いタクシーは他地区にもあるが、今回あえて与川と北部地区にした理由は。また、今後他地域へ広げる考えはあるのか。
- 三留野地区のうち駅から離れている地区についても交通手段の問題はあるが、今回対象外となっている。すぐにでも対象の拡大が必要では。
- 以前、与川線のバス運行について新町・上仲町・坂の下区を通ってもらえないかとお願ひしたが、バスの通行が難しいということであった。今回、地域拡大という形で再度検討出来ないか。
- 公平性の面からも、他地域への拡大が必要となる。見直しも含めて柔軟に対応し、高齢者や障がい者などが利用しやすい制度にして欲しい。
- 対象地区を決める段階で諮ってもらいたかった。
- 既存の路線しかデマンド交通の対象にならないというのは理解しにくい。地域のことを考えた制度にしなければ不公平感が出る上、デマンド化のメリットも少なくなる。もう少し柔軟に対応出来ないか。
- 今年度実施してから再度検討するのはまた先の話になる。迅速な対応をお願いしたい。

【乗降場所】

- 目的地の設定が4か所となっているが、学校や南木曾会館、社会体育館にお寺など行き先は多くある。乗降場所が少ないのでは。

【料金設定】

- 小学生料金が300円とのことだが、平日の9～14時に小学生が利用するのか。
- バスと比べて料金が500円に値上がりする理由として、乗車場所がバス停から自宅になり運行距離が伸びるためとしているが、伸びない人もいる。料金は今までと同じでいいのではないか。大桑村は300円で運行している。
- モデルケースとしてデータを取るとのことだが、アンケートを実施して利用者の声も聞いてほしい。

【その他】

- 福祉タクシー券の発行状況は。
- 回数券はどのように使うことになるか。
- バス運行が難しいということで乗合タクシーが始まり、今回デマンドタクシーという形になった。対象となった地区は改善したが、バスが通っていない地区では利用出来ないと悲しむ声も上がっている。

南木曾町林業資料の文化財登録

【説明概要】

南木曾町の保有する林業資料が、県有形民俗文化財として登録されることについて説明がありました。

用された鋸や斧といった道具類など281点です。また、町文化財保護審議会の審議の結果を踏まえ、町指定有形民俗文化財として登録する予定です。

今回登録されるのは、江戸時代に山仕事で使

南木曾町林業資料の文化財登録への質疑

- 文化財登録は町にとって喜ばしいことだと思う。多くの林業関係の道具が保存されているが、台帳などで管理されているか。
- 町内にはまだ多数の道具が存在していると思うが、今後、収集・拡充していくのか。
- 県の文化財に指定された場合、保管場所はどのようなのか。また、手当はあるか。
- 江戸から明治の文化遺産と言うが、資料を見ても古く貴重な物はわずかな数である。指導の先生方ときちんと整理をしたうえで進めていく必要があると考える。
- 町が努力して保存してきたことが評価された結果で、素晴らしいこと。日本遺産のキャッチフレーズは「山を守り、山に生きる」である。木材に関する財産が有形民俗文化財として登録されるのであれば、ぜひ保存に留まらず博物館などで展示、活用すべきである。
- 有形民俗文化財として登録されれば、中信地区で初となる。せっかくのチャンスであり、県などに積極的に働きかけ、展示・公開など進めるべきである。

南木曾町成人式の開催に関するアンケート結果

【説明概要】

中学1年生から高校3年生までの生徒220名およびその保護者を対象に行った「南木曾町成人式の開催に関するアンケート」の調査結果について報告がありました。

〈生徒〉

1月開催希望	90件
8月開催希望	84件

〈保護者〉

1月開催希望	76件
8月開催希望	93件

今後、教育委員会などで方向を協議し、公表していきます。

南木曾町成人式の開催に関するアンケート結果への質疑

- 全体としては概ね半々だが男女別の結果はどうなっているか。
- 中学・高校別の結果は。
- 現在は21歳だが、開催年齢についての調査は。
- 今年は1月と8月の2回、成人式が行われた。1月は着物姿も多く華やかさがあったが当事者の感想は。
- 男女別では、男子は半々だが女子は1月開催を望む声が8月を上回っている。日本の伝統文化である着物を着る機会も少なくなっている昨今、希望者があるならばもう少し検討する必要があると思う。

南木曾町奨学金支援事業(案)

【説明概要】

若者の移住定住の促進および地域の担い手となる人材の確保を図るため、奨学金を返還している人に対する支援事業を実施することについて説明がありました。

南木曾町に住所を有

し、自宅から通勤して就業しながら奨学金を返還している人が対象となり、対象者には補助率50%、年額12万円を上限に補助金を支給する計画案です。消防団加入者への上乘せも検討中です。

南木曾町奨学金支援事業への質疑

- 補助金額はどのように決定したのか。
- 一括で支払うことは考えているか。
- 対象者が35歳以下となっている理由は。また、公務員が対象とならない理由は。
- 途中で転居した場合は、転居時をもって打ち切りとなるのか。また、複数の奨学金を借りている場合は、それぞれに対して制度が適用されるのか。
- 事業の開始にあたり、基金などは設けるのか。
- 限度額をもう少し上げてはどうか。検討を求める。
- 実効性のある制度にして欲しい。返済ではなく奨学金そのものを借りる制度の新設など、状況を見ながら制度の拡大をお願いしたい。
- 高校生の保護者からどのようなニーズがあるか調査して欲しい。

宅地分譲に関するアンケート調査結果への質疑

- 新築で宅地希望者が一定程度いる。今後、この結果を踏まえ、神戸・元組以外にも宅地造成を考えているか。
- 新築希望が意外に多いと感じた。また、町内での新築希望者が多く安心した。
- 宅地分譲に関するアンケートであったが、空き家の活用に関する意見が多く、町民の空き家への関心の高さを感じた。現在町では、利用可能な空き家の活用事業を計画しているようである。是非、積極的に推進して欲しい。

宅地分譲に関するアンケート調査結果

【説明概要】

今年の4月から5月にかけて行った「南木曾町宅地分譲に関するアンケート調査」の結果について報告がありました。

おやこふれあい公園の整備計画への質疑

- 川側の芝を張ってある所はどうなっているか。
- 外部からは隠れた位置にあるが、人目につく方が安全では。
- フェンスはナイロン製の方が草刈りには便利ではないか。
- リニアの視察で大鹿村のグラウンドを見た際に、渡島にも発生土を入れてはどうかという感想があったが、町にはそういった考えはないか。
- 管理棟の裏では視界が悪く、横の通路も拡幅の可能性がある。位置的に見て川側の方がいいのでは。
- 南木曾会館の建替えや将来的な保育園の移転などを視野に入れているならば、トイレや管理棟の位置も含めて総合的に考える必要がある。

おやこふれあい公園の整備計画

【説明概要】

渡島総合グラウンドのテニスコートをおやこふれあい公園として整備することについて説明がありました。今年度は老朽化したフェンスの修繕や水飲

み場などの設置、来年度は大型遊具の設置を実施する計画です。

南木曾町職員の定年年齢の引き上げへの質疑

- 身分保障では、どの職においても社会保障制度は適用されるのか。
- 60歳到達以降は同じ仕事を続けても7割の給与となるか。
- 令和13年（2031年）までに定年を65歳にした場合、1968年生まれ以降の人もこの制度でいくのか。
- 人材がどこでも大変な中で、山間地の自治体でも総合力が求められる。また雇用の場所が出来るということからも良い。

南木曾町職員の定年年齢引き上げ

【説明概要】

平均寿命の伸長や少子高齢化が進行している状況を受けて国家公務員法および地方公務員法が改正され、令和5年4月から職員の定年年齢が段階的に65歳まで引き上げられることについて説明がありました。

南木曾町燃料高騰対策燃料割引券の概要

- ①対象者 町内に住民登録のある者
- ②支給額 1人につき燃料割引券3千円分
- ③対象燃料の種類 ガソリン・灯油・軽油
- ④割引券取扱店
(有)青木石油店、(有)アララギ青木商会、
(有)中島石油店、(株)二三石油三留野給油所、
ヤママン商店南木曾給油所
- ⑤割引券利用期間 令和5年2月15日まで

桃介橋架橋100周年記念事業

【説明概要】

桃介橋の架橋100周年事業について、河川公園管理組合や関西電力と協議した結果、来年読書発電所が100周年を迎えることから、令和6年度に町・関西電力・河川公園組合の協同で実施することについて説明がありました。

南木曾町燃料高騰対策燃料割引券支給事業

【説明概要】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域経済の活性化と燃料高騰による住民の経済的負担軽減のため、全町民に燃料割引券を支給するものです。

外から見た地元の魅力

先日ですが、少し嬉しい出来事がありました。

妻籠宿の駐車場定期バスの案内をしていると、一人の青年がニコニコと話しかけてきました。バスの発車までにはまだ時間があったので色々と話していると、埼玉から見えた大学生とのこと。夏休みも最後ということ、前々から来たかった長野県に、その中でも木曾路と妻籠宿にはぜひ来たいと思っていたそうです。電車が塩尻から木曾に入ると、山々の木々の緑の濃いこと、川の水が澄んでいて、空気が埼玉と違いとてもおいしいと話してくれました。

妻籠宿はどうでしたかと聞くと、「人が住みながら昔の宿場を大切に守っているのはすごい。記

聞いて

私の思い



妻籠地域振興協会副会長
加藤 英幸さん

旅行者との交流で気付いたこと

念に写真を何枚も撮りました」と感激した様子で、とても嬉しくほっこりしました。その日は松本に泊まり、明日には上高地に行くとのこと。十分に信州の自然を満喫して、埼玉に帰ってもらいたいと思いました。また、毎日生活していると当たり前になってしまっ地元の良い所を、今一度見直したいと感じました。

もう一つ、今年の妻籠の夏祭りは、一日だけでしたが御神輿の巡行をしていただきました。和智坐神社の総代長をはじめ、役員の方々の努力と、実行委員会の皆さんの協力によって、感染対策のも行われました。大変に嬉しく、昔からの大切なお祭りをこれからも大切に守っていつてもらいたいと改めて思いました。

議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。詳しい日程などについては、町ホームページ、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。

※9月の議会は、3日間で11人の傍聴がありました。



【お詫びと訂正】

「なぎそ議会だより」2022年8月号の掲載内容について

「なぎそ議会だより」2022年8月号につきまして、内容の一部に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。 議会報編集特別委員会

- 「なぎそ議会だより」2022年8月号 P.29 全員協議会「国道19号二三石油前の町有地危険木伐採整備について」質疑中
 - 誤 森林環境贈与税
 - ↓
 - 正 森林環境譲与税

編集後記

朝晩めっきり涼しくなりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。

先日の新聞に「今年の夏は蚊が少なかった」という記事が載っていました。

蚊は気温が25度〜30度くらいで活発に動き回り、それ以上になると活動が鈍くなるそうですが、なるほど今年の夏は30度超えの日がざらにありましたから無理もない話です。血を吸われなくて良かった反面、気になるのは地球温暖化による異常気象です。

9月9日には夜8時頃から降り出した雨が数時間に渡り続き、上在郷地区を始め各地区に被害をもたらしました。

2050年脱炭素社会をめざす国とは別に、私達が今出来ることを地道にやらなければいけないと、真剣に考える今日この頃です。議会へのご意見・要望をお待ちしております。

議会報編集委員

- 坂本 満
- 伊藤 寿子(記)
- 田中 晃
- 早川 親利